

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 7 号

平成29年11月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

校庭のけやきは冬支度。児童は、若葉の季節には、木陰で明るく元気に遊び、落ち葉の季節には、掃き掃除に進んではたらきます。けやきも、目指す児童像に向け、応援しています。

学校づくりへの取組

明るく元気、思いやりのある子ども

◇ 持久走大会（11月22日）

10日から、全校での5分間走の練習を始め、持久力を高めたり、ペース配分を考えたりしました。

大会のねらいは「最後まで、粘り強くやり遂げよう」。スタート前は、緊張、不安がありましたが、ゴール後は、力を出し切った、つらさを乗り越えたなど、満足した表情に変わりました。

自分の目標を目指すとともに、友だちの完走を後押しする思いやりのある応援も見られ、学校全体が「高め合う、支え合う」雰囲気でした。閉会式での話の一部を紹介します。

持久走大会は、「つらさに粘り強く立ち向かい、進み続けると、必ずゴールに着くことができる」という大切なことを私たちに教えてくれています。皆さんは、ゴールでき、さらに友だちのゴールへも力を与えることができました。素晴らしい態度です。

応援、安全確保、交通規制にご協力いただいた保護者、地域の皆様に感謝いたします。

よく考える子ども ～本年度の重点～

◇ 研究発表大会（11月14日）

本校を会場に、学級活動の研究発表大会を開催し、2つの授業を公開しました。3年2組は「よりよいクラスにするために」、5年1組は「縦割りの班活動を盛り上げよう」を議題に、計画委員の児童が進行し、話し合い活動により、自分の実践目標を決めました。参加者は約160人。発表を通して、自ら学び、互いに認め合う児童を育成するための手立てを広く発信しました。

よりよい生活に向け、よく考え、自分の意見を発表し、友だちの意見と比較、分類しながら整理し、新たな考えを形成する力は、未来を生きる上で大切なものです。これまでの研究が本校に根付き、「よく考える子ども」がさらに育つよう努めます。



進んではたらく子ども

◇ クリーン大作戦（11月1日）

全校児童が清掃場所を分担し、落ち葉拾い、草取りなどを行い、敷地内をきれいにしました。またたく間に落ち葉がつまった袋が集まり、進んではたらくことができました。

活動には、保護者、地域の方にもご協力いただきました。

さらに、「JOYみゆき」から、10人を超える方がご参加くださり、地域からのご支援のありがたさを改めて実感しました。

◇ さつまいも掘り（11月17日）

5月22日に苗を植え、収穫の時期を迎えました。地域ボランティアの指導のもと、苗植えと同様に、1・6年、2・5年、3・4年でペアを組み、力を合わせて作業しました。

丁寧に掘って取り上げ、収穫の喜び、働く意義、食の大切さなどを学びました。今後、焼きいも、大学いもにして食します。



音楽集会にも来ていただいております、交流が深まっています。



豊郷地域学校園の取組

◇ 宮っ子チャレンジウィーク（11月13日～17日）

中学校2年生を対象にした市の事業です。1週間、職場での勤労体験により、望ましい勤労観を育て、将来、主体的に進路を選択できる態度を培うことがねらいです。

本校では、卒業生3人が、1、2、4年生を担当し、授業の補助をしたり、一緒に遊んだりしました。児童とすぐに仲良くなり交流を深めるとともに、学校業務にも進んで取り組み、学ぶこと、働くことの意義への理解を深めました。



お知らせ

校内外の出来事で、保護者や地域の皆様にお知らせしたいことを取り上げます。

弾道ミサイル対応避難訓練（11月13日）

本校では、全国一斉情報伝達訓練の前日に行いました。Jアラート受信時の職員の動き、児童の安全確保に向けた円滑な避難誘導を確認するのが目的です。

児童は、緊急放送を聞き、窓から離れ、机で身を守る訓練を通して、自ら判断し、危険を回避できる力を高めました。

